



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE WEST

神戸西ワイズメンズクラブ

CHARTERED May 14th 1961

■事務局 神戸YMCA須磨ランチ 〒654-0081 神戸市須磨区高倉台4丁目12
TEL 078-734-0183 FAX 078-734-0585

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

西日本区強調月間 評価・計画

今年度の目標はどこまでやれたか。楽しいクラブ活動や充実した奉仕活動が行えたか。
会員増強は図れたか。評価と反省をしっかりと次に繋げよう。

浅岡 徹夫 理事(近江八幡クラブ)

今月の聖句

あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

新約聖書 ヨハネによる福音書 16章 33節

2012年6月例会

日時 6月19日(火)PM6:30~
場所 神戸YMCA、4階、サイコー亭

開会点鐘

ワイズソング

聖書朗読・祈祷

メンバー紹介

ゲストスピーチ

「中国よもやま話」

講師 鵜丹谷 剛氏(神戸クラブ会長)

誕生日のお祝

事務報告

閉会点鐘

会食

【例会にはプリテンをご持参下さい。】

5月のデータ

| | |
|---------------|-------|
| 在籍会員数 | 12名 |
| 例会出席者数 | 12名 |
| うち会員数(事務例会含む) | 8名 |
| 会員出席率 | 66.7% |
| メネット・コメット数 | 3名 |
| ゲスト・ビジター数 | 2名 |

ファンド(これまでに西日本区へ総金した額)

- ・ Yサ、ユース 18,000円、
- ・ ユースコイン 12,000円
- ・ CS 12,000円
- ・ BF 2,000円

誕生日おめでとうございます!

(6月のお誕生日)

吉田昌義メン (6月19日)

上杉 徹メン (6月23日)

報告 2012年5月例会

日時 5月15日(火) 18:30～

場所 神戸YMCA、4階、サイコー亭

出席者 メン：大田厚三郎、岡山泰典、小澤昌甲、加茂周治、野口善國、山田喜代子、吉田昌義、
メネット：大田忠子、松本恵子、宮田泰子、
ゲスト：正岡茂明氏(講師)、菅瑞希氏(余島リーダー)

内容

1. 第29回タイワークキャンプ報告・・・菅瑞希リーダー

期間：2012年3月10日～23日。

場所：タイ最北県のチェンライ県トゥーン郡のトゥンヌウア村学校

内容：学校の学習センターの建設。タイのユース、村人、ラオスのユースとともに働き、村にホームステイし、異文化交流を行った。

【菅 瑞希さんのひとこと】

タイでの2週間は本当にあっという間でした。キャンパー達との出会い、悩んだことも、泣いたことも、笑ったことも、全部良い思い出です。キャンプは終わったけれど私たちのワークはまだ終わっていない。また絶対タイに行こう。

2. ゲストスピーチ「神戸いのちの電話の活動について」神戸いのちの電話事務局長 正岡茂明氏

自死の現状・・・平成10年以降、毎年3万人以上が続く。国際的には人口比率での比較で、先進国ではロシアに続き日本が2位(米国の2倍、イタリア、英国の3倍)。男女比は男子：女子は3：1の割合。中高年の自殺、20～30代も多い。就職がない、うつ病など。

自殺対策・・・政府(内閣府、厚生労働省、警察庁等)は自殺対策基本法(H18)、自殺総合対策大綱(H19)、いのちを守る自殺対策緊急プラン(H22)、*ゲートキーパー養成、「こころの健康相談-ダイヤル」など。*は悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人。

神戸いのちの電話・・・1981年(S56)に開設。世界では1953年英国ロンドン。1971年(S46)東京いのちの電話。現在全国に50のセンターがある。神戸では160人の相談員が毎月1,000件以上の電話を聴いている。

3. 神戸いのちの電話に献金

2012年6月例会

日時 6月19日(火) 18:30～

場所 三宮、神戸YMCA本館、4階、サイコー亭

内容 「中国よもやま話」

講師 鵜丹谷 剛 氏(神戸クラブ会長、貿易業)

2012年7月例会(総会) 予告

日時 7月17日(火) 18:30～

場所 三宮、神戸YMCA本館、4階、サイコー亭

内容 ・2011事業報告 / 会計報告
・2012事業計画 / 会計予算

東日本大震災復興支援関係の取組み

大阪西ワイズ恒例の木器フェスタ終了後、窯元から大皿を含め、震災支援の作品を多数贈呈委託されました。委託された大皿は窯元の思いを込めた作品です。これを西日本区から仙台 YMCA へ贈呈すると共に他の作品を支援に当てるべく、西日本区大会へ向けた準備を進めています。本来なら木器窯より託された時点から、皆さんとの協議を重ねた上で進めるべき支援活動に関連する事柄です。ところが、西日本区大会開催までに時間が有りません。

森田代表と打ち合わせつつ西日本区理事の了承取り付けや大会関係者とも連絡をとりつつ、勝手に進めさせていただきました。事後承諾に成りますが今回の贈呈計画と募金活動の準備を進めた事、ご了承下さい。

募金と大皿の展示は、大会会場の大阪西クラブのテーブルに用意します。ヘキサゴン活動の一環としてご協力願えれば幸いです。「絆の大皿」と命名した大皿は素晴らしい作品です。展示後は仙台に送られ、現地に行かなくてはご覧いただけなく成ります。他の西日本区大会に参加される方々にも是非ご覧戴くようお願いいただければ幸いです。託された他の支援作品の扱いは別として、取り合えず大会へ向けた大皿の展示準備と贈呈に目処が立ちました。大会時に配る予定のチラシ原稿の添付と合わせてご連絡させていただきます。

今後共、宜しく願いいたします。大阪西ワイズメンズクラブ ヘキサゴン担当 畠平雅生

「絆の大皿」の由来

昨年、2011年3月11日に発生した東日本大震災では、改めて我々に寄り添う力と絆の大切さを実感させ、未永い継続した支援の重要性を認識している所です。この出来事に心を痛める一人として、兵庫県三田市木器(こうずき)窯の田中和人(たなか かずひと)窯元が被災者への寄り添う思いを込めて作陶し、木器の登り窯で完成させたのが本作品です。本作品は、大皿の中心部に細い窪んだ線と平坦な姿で震災の状況を表現し、周辺から国内を始め世界の人達の寄せる思いを抽象的に表しています。

この大皿は、東日本大震災復興支援への思いを同じくする大阪西ワイズメンズクラブへ約350点の作品と共に託され、皆の寄り添う心を込めて「絆の大皿」と命名されました。2012年5月10日、大阪西ワイズメンズクラブ5月例会席上、作陶者の田中和人窯元立会いの下、ヘキサゴン DBC へ贈呈。

続いてこの「絆の大皿」は、ヘキサゴン DBC より、2012年6月9日に開催される、ワイズメンズクラブ国際協会・西日本区第15回西日本区大会に於いて西日本区へ贈呈、披露されたのち、被災地に在って支援活動を展開する仙台 YMCA へ皆の思いと共に贈呈される予定です。

尚、木器窯の田中和人窯元から託された他の作品約350点は、仙台トライアングル(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川の3クラブで構成)とヘキサゴン DBC(東京西・京都ウエスト・大阪西・神戸西・広島西・熊本にし)の6クラブで構成)を主体に、東日本大震災復興支援品として活用されます。

東日本大震災・被災幼児支援募金ご協力をお願い

仙台トライアングルとヘキサゴン DBC の両クラブ連合を中心とする協働では、東日本大震災の支援活動の一つとして、被災幼児の支援を仙台 YMCA の幼稚園への就園援助を通じて行っています。

この支援活動により、2012年4月から二名の被災幼児を入園させました。

被災幼児への支援活動は、3年間継続して行いします。

この継続事業のご支援をお願いしたく、ワイズ旗へご署名を頂いて募金にご協力願えれば幸いです。

今後の日程

2012年7月例会(総会)(六甲部長訪問)

日時 7月17日(火) 18:30~21:00

場所 三宮、神戸YMCA本館 4階、サイコー亭

六甲部第1回評議会

日 時 7月14日(土) 14:00~20:00

場 所 東灘、レストラン「ブルーミンメドー」

内 容 1部・評議会、2部・講演会「平清盛と源頼朝」講師：高橋昌明氏(神戸大名誉教授)
3部・8クラブ納涼会

会 費 男性6千円、女性5千円

2012年8月例会(納涼例会)

日 時 8月21日(火) 18:30~21:00

場 所 三宮、グリーンヒルホテル「ピアホール」

会 費 3千円

* 他クラブに合同例会を申し込んでいます。

お 知 ら せ

第15回 西日本区大会

日 時 6月9日(土) 13:00~10日(日) 12:15

場 所 1日目：滋賀県立文化産業交流会館(米原市)

2日目：長浜文化芸術会館(長浜市)

登 録 第2次申込〆切 5月15日(火) メン18,000円、メネット16,000円

第70回国際大会(ノルウェー・スタバングル)参加の旅

Aコース：2012年8月1日(水)~7日(火)7日間 248,000円(先着15名)

Bコース：2012年8月1日(水)~9日(木)9日間 305,000円(先着25名)

申込締切 6月15日/株式会社トラベル ファイブ ジャパン

B F からのお願い

使用済み切手の担当を、山田喜代子さんが引き受けて下さいました。

毎月の例会時に、その都度、ご持参して下さるように、お願いします。

会計からのご連絡

* 2011年度もゴールにさしかかっておりますが、会費の未納分につきまして、至急野口メンと連絡を取っていただき、納付をお願いします。

* 例会時に2011年度第4四半期(4月~6月分)の会費9千円を納入して下さい。

郵便振込もできますのでご利用下さい。会費についてのご相談は、野口メンまで

記号 14330 番号 8046701 口座名義 神戸西ワイズメンズクラブ

理 事 通 信 西日本区理事 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)

理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

”Contribute to the Community through Active Services with Love”

今年8月に行われるノルウェイ国際大会でのユース国際大会(IYC)の参加を募り、4月に国際への申請をした所、今年度の参加人数枠をオーバーして受け付けられないという問題に直面しました。実はユースのIYC参加には、国際からも多額の援助を行いユース支援する関係で参加枠は厳しく絞られているのですが、こんなに早く窓が閉められるとは予想外でした。国際本部と折衝した結果ようやく増枠を認めていただき、東日本区から7名、西日本区から8名、1国として最大の15名の参加が認められました。国際会長を始めとする関

係者のユースに対する熱い思いが問題解決に導いてくれたと言えます。参加されるユースの皆さんは是非積極的に参画し、将来に向けて素晴らしい成果を挙げて欲しいですし、推薦いただいたクラブや部においてはそのユースの発表の場を設ける等、ユースの育成とワイズとの連携を意識して支援をお願いしたいと思います。6月9日10日にはいよいよ西日本区大会が開催され、多くの皆様とお会いするの楽しみにしています。この時にカナダからBF代表夫妻が来られることが決まり、8日の前夜祭から参加されます。今回は最初にびわこ部が、11日から京都部が、13日から中西部が担当して15日に東京にお見送りする予定です。突然決まったBF代表の来日ですが、誰もが積極的にBF代表のために手を差し伸べる姿に接し、私はワイズメンの素晴らしさに改めて感銘を覚えました。前回もそうでしたが、日本に来られたBF代表は多くの学びとワイズの温かい友情を持ち帰られる事は間違いありません。次回はぜひ日本からも有為の人材をBF代表として送り出して頂きたいと強く期待しています。

西日本区大会では、前回ご報告した東日本大震災復興支援関係の献金贈呈を行います。その前に行う第4回役員会で大震災関係のもう1件の課題、大震災で経済的に困窮されたご家庭のお子様への奨学金年間80万円を西日本区のFF資金を活用して提供したいとの提案を審議したいと考えています。これは仮に承認されたとしても、実行するのは次期の事業となります。東日本大震災復興に関してはまだまだワイズの支援を継続していく必要があり、このような期を渡っての連携が必要と考えているところです。

光陰矢のごとしと言いますが、昨年6月に仁科直前理事から引き継いで早くも1年が経とうとしています。まだまだ出来ていないこと、やり残したことも多々ありますが、新しい体制に執行を委ね、力を合わせてワイズメンズクラブの明るい未来を切り開いて行きたいと強く願っています。この1年間の活動を通じて改めてワイズメンズクラブの素晴らしさと、温かい友情に接することが出来ました。皆様からこれまで頂いた暖かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。これからもお互い身体の健康には十分留意して、愛と奉仕の精神で頑張りましょう。ありがとうございました。

6-1 11-12年度 年次代議員会・西日本区大会にお忘れなくご持参下さい。

11-12年度年次代議員会

2012年6月9日(土)午前10:30～於滋賀県立文化産業交流会館1F小劇場、各クラブ会長・部長・直前部長の皆様、「議案書および活動報告書」を忘れずご持参下さい。

西日本区大会

2012年6月9日～10日於滋賀県立文化産業交流会館1Fイベントホール、第1日目、オープニングにおいてバナーセレモニーが行われます。各部部長様及び、クラブ会長(代表者)の皆さんは、「部旗・クラブバナー」を忘れずご持参下さい。

6-2 今期第4回役員会並びに第2回準備役員会が開催されます。

6-3 周年記念例会

今月は下記の周年記念例会が計画されています。積極的にご参加して祝福と交流を深めてください。

詳細はクラブへお問い合わせ下さい。ホストクラブ周年日程曜日時間会場内容

大阪泉北クラブ30周年6月23日土12:00～15:00堺リーガロイヤル、堺の刃物づくり平川康弘氏・障がい者作品展

6-4 東西理事連絡会議が開催されました。

4月21日(土)13:00～16:00日本YMCAにおいて、東日本区河合理事を始め、東日本区の8名の役員の皆様と東西理事連絡会議が開催されました。東日本大震災について、東西の両区が連携し継続的な支援を続ける事を始め、2013年6月開催の第16回両区大会は第2週目東日本大会(6月8日～9日)第4週目西日本区大会(6月22日～23日)、また、2014年開催の第17回両区大会は、第1週目東日本区大会(6月7日～8日)第2週目西日本区大会(6月14～15日)とする事等が、取り決められました。

神戸YMCAマンスリーレポート

1、社会福祉法人の職員研修

去る4月29日(日)に、社会福祉法人神戸YMCA福祉会の職員研修が行われ、70名を越す職員が集り、一日学びの時を持ちました。日曜日であり、聖日礼拝は日本基督教団神戸教会の礼拝に参加させていただきました。また、YMCA保育園の園長を務めていただいている山ノ井景子さんが、4月にお誕生日を迎えられ、定年とされました。勿論、そのまま囑託として園長職を継続していただきます

2、126周年創立記念日礼拝、開催

去る5月8日(火)に、創立記念日礼拝が開催され、約80名の方々が出席くださいました。今年は岡山YMCA理事長の正野隆士さんを奨励者にお招きし、「全員参加の愛のYMCA」と題してメッセージをいただきました。正野さんがキリスト者として導かれて歩まれた人生を紹介された中で、お母様の「神は愛なり」という信仰について、また営業マンとなって悩み、迷うときに聖句に導かれて、生きる喜びを与えられたこと、また会社社長となって直面した経営難のときにも、神の導きにより難局を乗り切ってきたことなどのお話がありました。そして、岡山YMCAの理事長として、YMCAもまた「愛」の業を行なう事業の一つとして、岡山大学YMCAの寮を譲り受けて、「ハッピーホーム」という養護施設を設立されたことも言及されました。また、これからのYMCAについて、「新しいぶどう酒は新しい皮袋に」という聖句になぞらえて、新しいビジョンの必要性が語られ、子どもたちが置かれている状況の改善、それを取り巻く大人の責任についてもお話がありました。

3、訃報

長年、神戸YMCA学院専門学校で「栄養学」の教鞭をお取りいただいていた久保昌子先生が、去る4月13日に逝去されていることのお知らせがありました。専門学校、カレッジを担当された職員は大変お世話になりました。また、久保先生は神戸YMCAの専門学校に海洋スポーツ学科があった時代に、ヨットの寄贈もいただき、学生たちの訓練に大いに寄与しました。今もそのヨットは神戸YMCAヨットクラブのヨットとして活用されています。また、ちとせ幼稚園園庭の芝生や、三宮会馆チャペル前の自動演奏器付きピアノも久保昌子先生の寄贈によるものです。感謝をもって心から御霊の平安をお祈り申し上げます。

4、シアトルYMCAご一行、来神！

神戸市とシアトル市との姉妹都市締結55周年を記念したシアトル市の訪問団38名の一部として、去る5月11日(金)から21日(月)までシアトルYMCAから13名の方々が神戸にお越しになり、神戸YMCAとの友好を深める交流の機会が与えられました。一行は、総主事であるボブ・ギルバートソンさんご夫妻をはじめ、キャロリン・ケリー理事長と二人の理事の方、また長く交流をリードしてくださっている元副総主事のトム・ホースレーさん、国際担当スタッフのモニカ・クサカベさんをはじめ7人のスタッフが同行されました。

5、リーダー委嘱式、開催

去る5月20日(日)に、今年度のユースボランティアリーダーの委嘱式とリーダートレーニングが日曜日の一日を費やして開催されました。午前は開会礼拝から始まり、武田寿子会長からボランティアリーダーに求められることについて、熱い講演をいただき、午後はグループで様々なテーマで話し合いが持たれた。委嘱式には、ギデオン協会から2名が来られ聖書贈呈をしてくださいましたし、ワイズメンズクラブからも4名が駆けつけてくださり、リーダーに熱い激励と期待をお話くださいました。100名近いリーダーが集っていましたが、統計では500名を超えるユースリーダーが登録され、活動しています。

6、東日本大震災支援活動

去る5月18日(金)に、日本YMCA同盟で東日本大震災YMCA募金管理委員会が開催され、私も委員の一人ですので出席してきました。少し全国の状況をご報告します。YMCA全体としての活動は、仙台YMCA、盛岡YMCA宮古センターに加えて、東京YMCAが宮城県石巻市に設置された石巻センターの3つの拠点を中心に活動が継続されています。地域の認知も益々広がり、支援活動は多様に広がってきています。まもなく、同盟でこれまでの活動報告書とDVDが作成されることになっています。募金については現在、全国で3億円の目標に対して3.6億円が集り、それに基づいた活動ができていると言えます。(三菱商事から被災児童のための支援金2.6億円は含みません。)しかし、被災YMCA支援募金としては目標に届いていない状況で、今後、更なる募金が求められています。震災2年目を迎えて、支援活動を撤退する団体や企業も増えている中、YMCAの活動が評価され、期待されているところです。

7、今後の予定

1) 会員・職員合同研修会

6月の午餐会に代えて、アメリカ・ミネアポリスYMCAの総主事をお迎えして、アメリカ社会における「ファンド・レイジング」の手法について、アメリカYMCAの事例から学びます。是非、ご出席ください。

日 時:6月4日(月)午後6:30~8:30、 場 所:神戸YMCA 4F 神戸サイコー亭

テーマ:「アメリカのファンド・レイジングを学ぶ」

講 師:ハロルド・メザイル氏(ミネアポリスYMCA 総主事)、ロビー・ウェイン氏(元ミネアポリスYMCA 副総主事)

会 費:2,000円(夕食代)